



CONTENTS

- 地域振興
組合未加入対策、女性プロジェクト
- 環境衛生
組成調査及び視察研修の実施
- 消防団
春季非常招集訓練、夏の消防体験
- 健康福祉
学習会、絵手紙交流ほか
- 子どもを育む
各地区の活動について
- 生活安全
夏の防犯パトロール、交通安全運動

コラムかなえ

子どもを育む委員会では、6月29日に鼎小学校児童を対象として、「サイエンスショー」超低温の不思議な世界」と「みんなで体験〜巨大空気砲〜」を実施しました。

風船や花を液体窒素に入れるとどうなるか、興味津々に実験を見つめる顔。オレレンジュースを凍らせた作り立てのシャーベットに目を輝かせている顔。

巨大空気砲から発射された大きな煙の輪を必死に追いかける姿。全児童に用意した空気砲を使い、プラコップの的を必死に狙う姿。

子どもたちの感情豊かな顔や姿を見ることができ、とても嬉しく思うと同時に、私たちが元気をもらいました。

南信州いいだおもしろ科学工房の講師陣を中心に、子どもを育む委員や中学生ボランティアが一丸となり、事業は大成功でした。

地域振興

組合未加入対策に係わる懇談会を開催

副会長 戸崎 敬

7月30日(火)に、松尾、伊賀良、上郷、鼎4地区による懇談会が行われました。それぞれの地区から組合加入の現状について報告や問題点の発表をいただきました。

全ての地区共通で加入率の低下や脱会者の増加など頭の痛い問題を抱えている状況が報告されました。中でも若者の加入が少なく、多くの未加入者が共通して口にする言葉が『加入することのメリット』や組合費の負担と役員が回って来ることを嫌がる傾向があります。組合加入によるメリットは自分から見つけるものがあると同時に地域コミュニティを形成する基本であることを忘れてはいけないと感じます。とは言え、加入促進



のために声掛けを行い、地域の様子を説明して仲間を増やす活動を怠ってはいけないことも確認しました。

組合未加入と同時に問題となることはゴミの問題でした。組合未加入者が指定場所にゴミ出しをすることは飯田市では認められていないといえ、管理する側と温度差が生じます。組合未加入者が税金を払っていることを盾に自己都合を主張する方が多く、なかなか説得には応じていただけなのが現状です。

組合加入率の低下はまちづくり委員会の組織力の低下につながります。脱会者を引き止めることも大切だと思います。

飯田りんごんに参加して

下山区長 木下克志

久々に飯田りんごんに参加しました。熱帯夜でしたが楽しい一時でした。

感じたことは、1万2千人を超す大所帯の地区で参加したのは鼎連だけでした。

会長の努力に頭が下がります。鼎を含め人口が多い地区は、組合加入率の低下に歯止めがかかっておらず、仮に組合加入率が50パーセントとしても参加対象者は、5600人。人口300人余の上村でさえ、連として参加しています。また、人口千人余の三穂、上久



堅、千代、南信濃の連が参加し、頑張っています。

「無気力」「無関心」「消極的」と言われて久しいですが、そんな言葉を払拭し、流している汗が、地域の連帯と発展につながることを願いました。

今年も、小・中・高の子ども連の参加が多く、明日を担う子どもたちに拍手です。子どもたちに、この地域に残ってもらうための地域づくりをするのが大人の仕事だと思います。

各種行事へ子どもたちを巻き込んで賑わいの創出を図りましょう。その点、今年の飯田りんごんは、大変勉強になりました。

女性プロジェクトが始動

総務文教部長 牧島龍雄

まちづくり委員会もそうですが、各区の自治会役員は男性が多いのが現状です。鼎地区の基本計画では「女性が参画しやすく、誰でも担える各組織役員の体制を整えます」とはあるものの、地域に暮らす人の思いをより活かした地域づくりを進めたいという点で、大きな課題を抱えています。自治会活動の継続発展のためにも、「男女がともに参画しやすく意見が言いやすい組織をめざしたい」として、女性を中心に幅広く意見聴取し課題を明らかにするためのプロジェクトを始めました。一歩動き出したと思います。



7/12 地域人教育コースの高校生との懇談会



活動資金街頭募金活動

**赤十字への支援
ありがとうございます**
赤十字奉仕団県分団
分団長 福澤豊子

5月から、まちづくり委員
会のご協力をいただき、日赤
活動資金募金活動を行って
います。各世帯の方々、また法
人の皆様には、納付書を介し
て活動資金を寄付していただ
きました。

7月7日にはアピタ飯田店
店頭で奉仕団員が募金を行
いました。小さなお子さんが自
分のお財布から硬貨を取り出
し、募金箱に手を伸ばしてく
れました。団員とのお子さ
んは顔を見合わせて「ここ
り！「苦しんでいる人を救
いましょう」の呼びかけに多く
の方が募金をしてくださいま

した。深く感謝いたします。
寄付金は、能登半島地震を
はじめ、頻りに勃発する自然
災害で被災された方々の救護
活動や万一の避難生活に備え
た毛布等救援物資の備蓄、今
も戦火の中にいる海外の被災
者支援等に使用させていただきます。
今後とも赤十字活動へのご
理解、ご支援をお願いします。
**市長と語るまちづくり
懇談会で地域課題を共有**
8月28日、県地区において
市長と語るまちづくり懇談会
が開催されました。今年のテ
ーマは三つ。一つ目の「大規
模地震における家庭用井戸水
等の利活用」においては、井
戸を活用した地域ぐるみの取
り組みを評価し、市としても
前向きに研究していきたいと
の答弁。二つ目の「公共複合
施設の建設の見直し」では、
リニア関連工事が大幅に遅れ
たことで、スケジューリング
を見直さなければならぬとい
の答弁。三つ目の「組合未加
入問題」については、特に、
現場における不公平感が問題
となり、問題を共有する機会
となりました。

**県地区パワーアップ
事業(二次分)を決定**

このたび、本年度の県地区
パワーアップ事業の一次分が、
まちづくり委員会の役員会に
おいて決定されました。

今年のパワーアップ事業は、
これまでの助成対象を見直し、
新たに、県地区のために公益
的な活動をしている事業所と
NPOを対象としました。助
成対象とした団体等は、8団
体等で、助成額は、総額139万
7千円となりました。

基本構想・基本計画が目指
す将来像の実現に向けた取り
組みが期待されます。

令和6年度 県地区パワーアップ事業一覧(一次分)

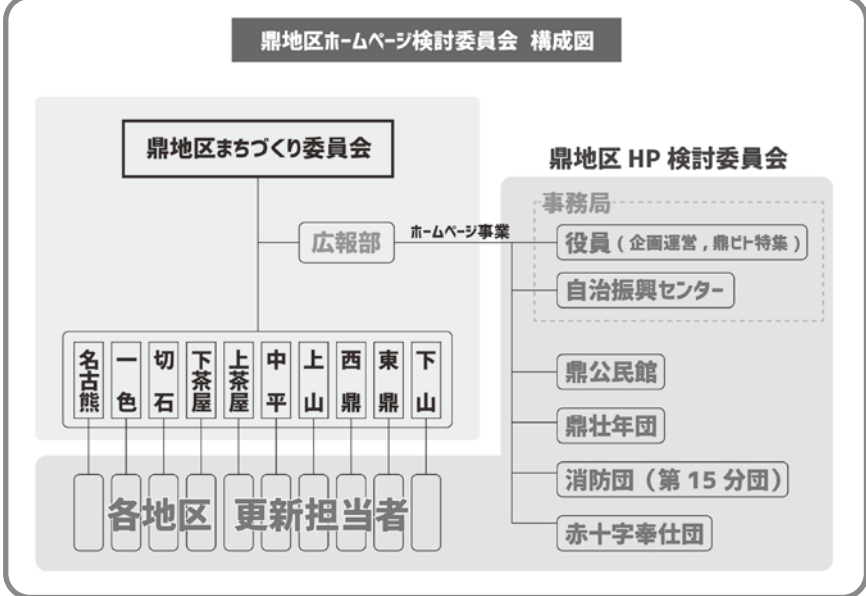
No.	事業名	申請団体等	助成額(円)
1	地域活性化に向けた同志会ブランド醸成事業	上山区同志会	200,000
2	一色区除夜の竹宵事業	一色区除夜の竹宵の会	180,000
3	獅子舞を通じた人づくり事業	中平獅子舞保存会	200,000
4	桜まつり・桜ライトアップ事業	東県区	200,000
5	区民のための鯉のぼり祭り夏祭り事業	西県区	225,000
6	視聴覚拡充事業	下山区	124,000
7	店舗を活かしたコミュニティカフェ運営事業	お食事処・夢	169,000
8	遊休農地を利用した保育園児・小学生等との食育活動	夢かなえ隊	99,000
合計			1,397,000

**ホームページの
利用拡充を**

ホームページ検討委員長
木下善文

県地区ポータルサイトが公
開になって3年。ご覧になら
れた方も大勢と思いますが、
際立つのは情報更新の量とリ
アルタイム感です。「ここ(H
P)に来れば誰かに会える」。
検討委員会が目指したHPの
姿は、更新担当者の皆様のご

尽力により、笑顔がたくさん
掲載された素敵な場所になっ
てきました。いつでも誰でも
更新できる手軽さはWEBの
もつ特性ですが、本誌である
「広報かなえ」があつてこそ
WEBの自由度が高まるもの
として考えています。
これまで検討委員会はニュ
ートラルな組織として活動を
してきましたが、正式に広報
部のひとつの事業としてまち



づくり委員
会に協力を
する方向で調
整をしてい
ます。きち
んと組織化
を図り永続
性を目指し
たもので、
より良い場
所として大
勢の皆様にご
覧いただき
けるよう改
良を重ねて
まいります。
今後の更新
をお楽しみ
に。

環境衛生

中平支部長 仲田 伸久

埋立ごみは、燃やすごみと資源ごみを除いたものですが、これがなかなか悩ましいもので、住民の皆様も分別の判断には苦勞されているのではないのでしょうか。組成調査でも、サンプリングされた一般的な埋立ごみから、中身を瓶やプラスチック、鉄など17種類に細かく分別した結果、その中には燃やすごみや資源ごみも多く混在していることが分かりました。

現在最終処分場では、運営



開始から15年が経過し、計画量のおおよそ半分の容量が埋まっています。すぐに計画量を満たしてしまうことのないよう、資源として再利用できるものについてはしっかりと分別し、なるべく埋立ごみを減らすよう心掛けることが重要であることを認識しました。

また、前田産業(株)では、

各地区のリサイクルステーションで収集された瓶やペットボトル、アルミ缶の一時保管所としての業務やプラ資源、紙資源の再利用についてご説明いただき、安全面や環境面に十分配慮され、適正に保管されている状況を見学させていただきました。

これらの研修を通



7月3日(水)実施! 組成調査 in グリーンバレー千代 視察研修 in 前田産業(株)

じ、限りある資源を有効に活用するために、一人一人が持続可能な循環型社会を意識し取り組むことが重要であることを学びました。

下山支部長 小平 彰

数年前のグリーンバレー千代視察時には、埋立容量が予定期間より早くなること

が深刻化していましたが、分別が進んだことや稲葉クリーンセンターの焼却灰を入れなくなったことで、想定より埋立ごみが減少し、使用期間が12年伸びました。しかし、4割程度は未だ正しく分別されておらず、職員の方が分別してくれています。当日は鼎地区より出た埋立ごみの組成調査を行いました

が、乾電池やプラごみ、燃やすごみなどが入っていて、まだまだ分別やりサイクルができる状況でした。

前田産業では、収集されたガラス瓶やペットボトル、アルミ缶や新聞紙などがありました。リサイクルできるもの

ばかりですが、特に気になったのが集まってきたプラ資源の分別ができていないことでした。また、新聞紙やチラシを解いてビニール封筒などを分別していましたが、梱包のひもがビニール製がほとんどで紙ひもにすればさらにリサイクルや手間が省けると聞きました。

私もゴミを捨てる時に分類に迷いますが、ごみ分別アプリ「さんあくる」や「ごみ出しガイドブック」でしっかりと確認したいと思います。



水辺美化、ご協力ありがとうございました

鼎地区9区では6月16日(日)に、名古熊区では6月30日(日)に全市一斉水辺等美化活動を行いました。

当日は延べ2千人を超える多くの皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。改めて大勢の方々のお力により美しい鼎地区が保たれていることを実感いたしました。美化活動は単にきれいな状態を保つだけでなく、水路の氾濫を防ぎ安全安心な生活を過ごすために必要な事業です。自分たちの地域を守るため引き続き皆様のご協力をお願いいたします。





春季非常招集訓練

消防団では、消防力向上のため、年に2回、火事を想定した放水訓練を実施しています。

令和6年の第1回目訓練を6月23日(日)に実施いたしました。

今回の訓練では火事及び、居住者の避難誘導、応急手当を想定した訓練を実施するため、要介護老人施設のグルー



プホーム切石様にご協力いただき訓練を実施しました。当日は大雨の中、また、川幅が広く浅い自然水利から水を取らなければならぬ難しい訓練となりましたが、団員が協力し、無事に放水を行うことができました。

最後に、早朝の大雨の中、訓練にお越しいただいた方々、訓練にご協力いただいた各団体及び近隣住民の方々に厚く感謝申し上げます。

切石上班納車式

令和6年4月に納車された、切石上班の新型ポンプ積載車の安全祈願とお披露目を目的とし、6月23日(日)に納車式が実施されました。

納車式には、切石区長を始め、飯田市議会議員の皆様、

歴代団員など、多くの関係者の方々に集まりいただきました。納車式では、安全を祈願し、ご祈禱いただいた後、参加者の方々に、新車両の装備品を披露いたしました。



矢高諏訪神社 秋季祭典煙火警護活動

消防団におきましては夏季における各地区のお祭りには花火の打ち上げに伴う火災の防止を主とした警護を実施しており、8月17日(土)に行われた矢高諏訪神社秋季祭典煙火打ち上げにおきましても警護活動を実施しました。

当日は夕方より一時的に強い雨が降ったため、通常実施している散水作業は行いませんでしたが、花火打ち上げ時と連合大三国時の警護は通常

どおり実施しました。一部花火の燃え残りが落下してくることはありませんでしたが、大きな問題等はなく、無事何事もなく終了しました。

夏の消防体験

8月25日(日)に鼎少年消防クラブを対象としたイベント「令和6年度夏の消防体験」を鼎防災センターにて開催し、当日は大勢の子どもたちが集まりました。

はじめに伊賀良消防署の方にご協力いただき、防災ハザードマップを見て災害発生時の避難場所や地域の危ない場所を確認しました。

その後は松川河川敷へ移動して、消防団の小型ポンプを使用して放水体験を実施しま



した。参加した子どもたちは放水の水圧に耐えながら、勢いよく水が飛んでいく様子に興味していました。消防団では、今後もこのような子どもでも楽しめるイベントを実施しますので、機会があれば、ぜひ参加してみてください。



団員募集のお知らせ

消防団員募集

有事の際に活躍できる団員を募集しております。資格をとることもできます。(準中型免許、小型車両系建設機械など)

関心のある方はお近くの消防団員、またはお近くの消防詰所までお気軽に声をかけてください。

電話

090-7247-2181

メール

aamunakyat.ke-aloha@docomo.ne.jp



学習会「傾聴について」

上山支部長
山崎りえ子

『傾聴』という言葉、漢字の意味は分かるけれど学習会で何を学ぶの？と思った方がいらつしやるのではないでしようか。健康福祉委員会では、6月20日に社協傾聴ボランティア「おひさま」元代表の駒瀬靖彦先生を講師に『傾聴について』の学習会を鼎公民館で開催しました。

日本における傾聴ボランティアは、1993年特別介護老人ホームに於いて村田久行氏が活動を開始したもので、その後、図書館の臨床心理学等の本の近くに『傾聴』の本が並んでいました。

誰でも人の話を聞くことはできますが、聴くスキル（技術）が伴うことで相手への助けになるのなら、身に付けた



健康福祉委員学習会

い技術だと思えました。傾聴ボランティアにおいては、聴くことに徹してアドバイスとしてはいけない、同感・同情はだめ、相手を評価せず、ありのままを受入れることなど、注意点の数々を学びました。

人間は他の動物と違い社会的動物であるため、人と人とのかわりを嫌でも必要としてしまうのだと耳にしました。人と話をする事で自分の考えが整理され、自分自身で解決の糸口を見つけ、プラス思考になっていくことが理想とされるそうです。

地域での見守り活動の一助となればと出席しましたが、常日頃、半径5メートル以内にいる人（家族など）との会話に心を傾けていない我が身を顧みて、反省する時間でもありました。

心を伝える絵手紙

副委員長（一色）
加藤雅芳

7月6日に鼎公民館で第1回目の絵手紙講習会を開催しました。今年度も上山在住の小森ゆみ子先生を講師にお迎えして、中学生10名、小学生2名の生徒・児童に加え、健康福祉委員のボランティア部会員も参加をしました。

絵手紙は「へたでいい。へたがいい」が心得と言われますが、大人達がどうしても見映えに捉われて筆が進まないのに対して、子ども達は思うまま素直に筆を走らせていました。また、添えられた一言には思いやりが感じられ、年始状としてお受け取りになれる高齢者の方の喜ぶ顔が目につかぶようでした。



講習会で描かれた絵手紙

今回は71枚の絵手紙を描き上げてもらいました。10月には第2回目の講習会を予定しており、多くのお子さんの参加を期待しています。また、ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭でも絵手紙づくりを予定していますので、興味のある皆さんにもご協力いただければ喜ばしいことです。

私も初めて参加してみても、私にも助け合い、協力し合「見守っていく福祉のまちづくり」に適う事業であると感ずることができました。

ふれあいサロン

東鼎支部長
池田謙一郎

東鼎では、ふれあいサロンを第1・第3水曜日に開催をしてきましたが、定年延長により仕事をしている役員が多くなり、平日開催のサロン運営に影響が出てきたため、先生や役員で相談をして土曜日の午前に変更をしました。

第1回目は、6月と遅くなりましたが無事に行うことができました。当日は、区役員のアメシロの消毒がありました。サロンの開始時刻と同時刻に消毒が終了したため、



東鼎 ふれあいサロン

区役員の皆様にも参加をお願いしたところ快く参加していただき、15名ほどで楽しく体操をすることができました。先生からは、次回も出てほしいと熱望され、女性の先生からのお願いでもあり役員の男性達もまんざらでもない様子でした。どこの地区のふれあいサロンでも、参加人数を増やすのに苦労をしていると聞いています。今回のようなことが増えるきっかけになれば嬉しいですね。

参加された方にポイントを付加する事業が昨年より開始されましたが、それとは別に東鼎独自で参加された方へのプレゼントも今年度より検討して、参加人数を増やすようにしたいと考えています。

生活安全

防犯パトロール

西鼎柳平 兆

生活安全委員会は、交通安全活動と共に防火防犯の役割も担っています。

毎年、夏と冬の地域安全運動期間中に、各地区それぞれの日程・時間帯でパトロール活動を行っています。

西鼎地区では、例年夜間パトロールを行っています。今回の夏のパトロールでは、お店や公園、空き家等を巡回したり、防犯灯の点検を行ったりして、昼間では気付きにくいことを確認しました。

鼎地区全体で、各地区の状況に合わせた防犯パトロールを期間中に行うことにより、鼎地区の安心・安全に繋がるのではないのでしょうか。

地域全体も、都市化の様相を呈し社会環境も変化する中

で、鼎地区の環境も変わってきました。一見無駄に思えることでも、続けてきた意味を考えた時「継続は力なり」。こうした活動を通して安心・安全なまちづくりを目指したいと思います。



春季非常招集訓練

6月23日(日)朝7時半より、切石グループホームで飯田市消防団第15分団の春季非常招集訓練が行われました。

生活安全委員会からは上茶屋、切石、上山の交通指導員6名が参加し、非常線を張り交通規制を行いました。

どしゃぶりの雨の中での訓練となりましたが、実際の火災現場を想定し、消防団員と協力して実施することができました。

夏の交通安全やまびこ運動

夏の交通安全やまびこ運動初日の7月11日(木)朝7時、東鼎交差点にて人波ルート作戦を実施しました。

下山、東鼎、西鼎、下茶屋、中平の交通指導員・女性部員、飯田市役所鼎会、名古熊交番の警察官など約50名が集まり、「ルールを守って安全運転」、「早めのライト点灯」、「飲酒運転撲滅」などと書かれたのぼり旗を掲げ、ドライバーに交通マナーの実践を呼びかけました。

7月14日(日)には、交通指導所の開設を予定していましたが、雨天のため中止となりました。



交通事故に注意！！

飯田警察署管内の交通事故発生件数 (R6.7月末)

区分	件数	死者数	傷者数
累計	133	5	143
前年比	-16	2	-27



ドライバーのみなさんへ

ハンドルを握ったら運転に集中！
速度抑制、一時停止、交差点での安全確認、早めのライト点灯。
周囲の状況をよく確認して慎重な運転を心掛けましょう。

歩行者のみなさんへ

横断歩道の利用と安全確認を忘れずに！
横断歩道を渡るときは、手をあげて横断する意思をドライバーに示し、安全を確認してから渡りましょう。

自転車を運転するみなさんへ

自転車に乗るときはヘルメットを着用し、カーブの手前では減速するなどの確な運転操作をしましょう。



子どもを育む

上茶屋 こども夏祭り



7月27日、上茶屋多目的センターにて、子どもを育む委員会、小学校PTA、壮年団の主催でこども夏祭りを行いました。新型コロナウイルスの影響もあり、数年振りに大勢の方に参加していただきました。また、当日は天気が危ぶまれる中、雨もあがり無事に開催することができました。子どもたちにスタンプラリーの台紙を渡し、ミニ緑日と

題して、射的やヨーヨー釣り、お菓子の掴み取り、輪投げ、ペットボトルボウリングにうちわ作りと6つのブースを多目的センターの内外に設置し、思い思い好きなように回ってもらいました。お菓子や景品などたくさん用意することができ、子どもたちも喜んでいました。

夏祭りの締めくくりには、壮年団による花火を行いました。吹き上げやナイアガラなど、



花火があがると「ワー」と大きな声が聞こえ、盛り上がる事ができました。

短い時間での開催でしたが、夏の思い出の1ページになりました。

上山 みんなでやらまい!

子どもたちにとって待ちに待った夏休みが7月23日からスタート!今年も猛暑、年々暑さが増し暑い夏です。夏休みは嬉しいのですが、ついてまわるのが課題の数々。

今年もその課題に取り組む居場所づくりを2日間行いました。上山の『やらまい会』は18年前の2006年にスタートしています。コロナ禍で中止の年もありましたが積み重ねられていくことに誇りを感じます。小学生の宿題



でも大人にとつては難しい問題がいっぱい。中学生ボランティアの参加協力は大助かりでした。中学生の皆さんに感謝、ありがとうございます。

宿題だけでは楽しくありません。体験学習として1日目に今年も草のキーホルダーづくりを行いました。去年と形を替えたり模様を工夫したりして、一生懸命取り組み子どもたちの姿に感心しました。

2日目にはまちづくり委員会を取り組みを進めている防災について、伊賀良消防署にお願いして学びました。講師のお話をしっかり聞いて進んで発言する姿が沢山ありました。また、水引細工のストラップづくりは、子どもたちと



大人と一緒に作った制作で世代間交流の場になりました。内容も充実し子どもたちの元気な姿に出会えた2日間でした。

熊古名 夏の令和稲井学校を終えて

7月27日〜28日に、子ども居場所づくり、世代間交流の場として「令和6年夏の令和稲井学校」が開催されました。平成25年から始まり、コロナの影響で中止となることもありましたが、今年で9回目となります。

前半の1時間は、OBの先生方のご協力をいただき勉強を行いました。参加した子ども皆さん熱心に取り組んでおり、嬉しい限りです。後半の1時間30分は、子どもたちが楽しめる企画を用意

しました。初日は、伝統行事に触れてもらうよう地元高齢者「悠々クラブ」のご協力で行いました。由来や風習について真剣に聞き、短冊に願いごとを書き、お願いをしながらササに結びつけていました。

2日目は、壮年団とPTAのご協力で流しうめんを行い、プチトマトやゼリーなどが好評でした。子どもたちが、美味しそうに食べながら若い壮年団と楽しく話している姿を見ることができました。今後も世代交流の機会として続けることが大切と感じました。

